

<2019年度 ハローオリンピック事業>
オリンピック教室

実施報告書

奈良県 奈良市立平城西中学校



「オリンピック教室」の実施にあたって

現行の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その榮譽を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和元年5月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 2019年4月～2020年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 80校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目
運動の時間 (50分)



2時限目
座学の時間 (50分)



※学校の通常の授業時間をベースに実施
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります

1時限目

運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備体操（10分）

主運動（30分）

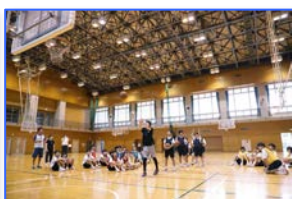
まとめ（5分）



自己紹介
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動
（作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る）



運動の授業のまとめ

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

座学の時間

挨拶・自己紹介（10分）

オリンピックの価値を伝える（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用
した自己紹介



オリンピック自身の経験に
基づく「オリンピックの価値」等
を伝える



グループ（個人）ワークで
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

実施内容

■期日：2020年2月12日（水）

■クラス：2年1組（33名）、2年2組（36名）

■オリンピック：佐伯 美香 先生（バレーボール・ビーチバレーボール）【出場オリンピック／アトランタ大会、シドニー大会、北京大会】

■授業のながれ：運動の時間（3時限、5時限）

1. 自己紹介～授業の目的確認



・自己紹介の後、オリンピックにはオリンピックバリュー(オリンピックの価値)があること、運動の時間の約束として「エクセレンス」=全力を出し切る、「フレンドシップ」=皆で協力する、「リスペクト」=チームで助け合い、励まし合う、を意識することを伝え、準備体操(ストレッチ、ボール使った運動)に移る。

2. 準備体操



3. 主運動



・円陣パスまわしを実施。



4. まとめ



・冒頭に伝えた「全力で取り組む」「協力する」「助け合う」ことができたかを確認。オリンピックバリューについて、自身の経験談を交えて、次の座学の時間で詳しく説明すると予告し、運動の時間で行ったことを忘れず、学校生活にも活かしてほしいと伝える。最後にクラス全員が一行に並び、佐伯先生と交互に1人1回ずつパスを行い授業終了。



■ 授業のながれ：座学の時間（4時限、6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



・自身の経験を通じて感じたオリンピックバリューについて「エクセレンス＝卓越、全力で取り組む、ベストを尽くす、一生懸命頑張る、自分の可能性を信じて努力する」「フレンドシップ＝友情、仲間、協力、コミュニケーションを大切にする」「リスペクト＝敬意/尊重、ルールを守る、感謝」と紹介。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



発問：夢や目標、挑戦したいことを実現させるためにどのように取り組んでいけばよいか、3つのオリンピックバリューに当てはめて具体的に書き出そう。

発表：各班の代表者1名が前に出て発表。（抜粋、順不同）

「パン屋さんになるために、フランス語の勉強をする」「介護士になるために、目の前にある課題を一生懸命する」(エクセレンス)

「自分だけでなく、周りの事も考える」「同じ夢を目指している人と協力する」「テストで良い点をとるために、教え合う」(フレンドシップ)

「パンで親や友人に恩返しをする」「その人の良いところを見つけ、感謝する」「志望校に行くため、支えてくれる親や友達に感謝する」(リスペクト)

4. まとめ



・夢や目標を他人に伝えるのは恥ずかしいと思う人もいるかもしれないが、積極的に口に出してほしい。自身も、こうなりたいという希望を周りの人に話していた。希望を口にしてやらざるを得ない状況を作ると、それが目標に向けて努力する活力にもつながっていき、周りの人も応援し、支えてくれるようになる。夢や目標に向けて努力を続ける中で、思うようにいかない時や辞めたいと思う時が来ると思う。そのような時にこそ、オリンピックバリューを思い出してほしい。オリンピックバリューはオリンピック選手だけのものではなく、皆の日常生活にも見出せる価値観である。オリンピック教室で学んだことをこれからの人生につなげていってもらいたいと伝え、授業終了。

■ 集合写真
2年1組



2年2組



■ 記念品贈呈

2年1組



2年2組



■ 修了証贈呈

